３－３．施工図

４．お手入れ方法

本製品がいつまでも美しさを保つよう下記に従ってお手入れしてください。
・洗面ボウルの汚れは浴室用洗剤等をスポンジにつけて磨きます。磨いた後は布などで水拭きし、最後に空拭きをして下さい。
・排水口にヘアキャッチャーが付属している場合は、引き上げて取り出し、ゴミを取ったら水洗いしてぬめりを取って下さい。

５．注意

用途以外のご使用はしないでください。事故の原因となります。
・取付けは本書の通りに実施し、施工店様が行って下さい。誤った取付けは事故・ケガの原因となります。
・強度のある壁・カウンターへ取付けて下さい。本体の固定が不十分な場合、外れが生じたりガタツキの原因となります。
・本製品に登ったり、ぶらさがったり、もたれたりしないで下さい。また、たたく・ぶつける等衝撃を与えないで下さい。
・陶器の洗面ボウルは、硬い物を落下しますと破損してしまいますのでご注意下さい。
・冷水・熱湯をかけたりしないで下さい。高熱の機器の近くには置かないで下さい。
・修理技術者以外は修理改造を絶対に行わないで下さい。
・施工店様は施工終了後、正常に作動する事を確認するとともに、お客様に使用方法・お手入れの仕方を説明して下さい。

株式会社リラインス
〒106-0031
東京都港区西麻布3-16-28
ルベイン霞町ビル

http://www.reliance.co.jp
製品についてのお問い合わせは
・TEL 03-3479-9204
・FAX 03-3479-9200
2008.10

リラインス

施工・取り扱い説明書

施工、ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、正しく施工、ご使用ください。
お客さまへ・・・本書はお読みになった後も、お使いになる方が必要な時にいつでも読める様、大切に保管してください。
工事店様へ・・・施工後は、この取扱説明書をお客様へお渡しください。

RW101洗面ボウル

１．部材確認

１）下表を基に部品の数量確認を行って下さい。

同梱部材					
RW101					
①ボウル本体	②バックハンガー	③バックハンガー取付ネジ（スチール）	④ワッシャ	⑤壁止金具	⑥壁止金具取付ネジ（ステンレス）
1台	2ヶ	6本	2ヶ	2ヶ	2本
	バックハンガーセット（1袋）				
⑦Tボルト	④ゴムワッシャ	④ワッシャ	④ナット	⑧保護チューブ	⑨施工・取扱説明書
2本	2ヶ	4ヶ	4ヶ	2ヶ	1枚
Tボルトセット（1袋）					

２．施工前のご注意

１）取付けは本書の通りに実施し、施工店様が行って下さい。
２）施工の際には商品表面にカバーをかけるなどし、キズをつけないようご注意下さい。

３－１．RW101(壁付け仕様)　施工方法

1)バックハンガーを図1の位置を参考に壁面へ取り付けます。
長穴の取付穴にワッシャを付けたバックハンガー取付ネジで仮固定し、左右のバックハンガーが各々傾き無くかつ左右の高さが同一水平面に揃う様な状態で締付ます。
その後、バックハンガーの他の取り付け穴へもネジ止めを行い固定します。
（長穴以外の取り付け穴へはワッシャーを使わず直接ネジ止めします）

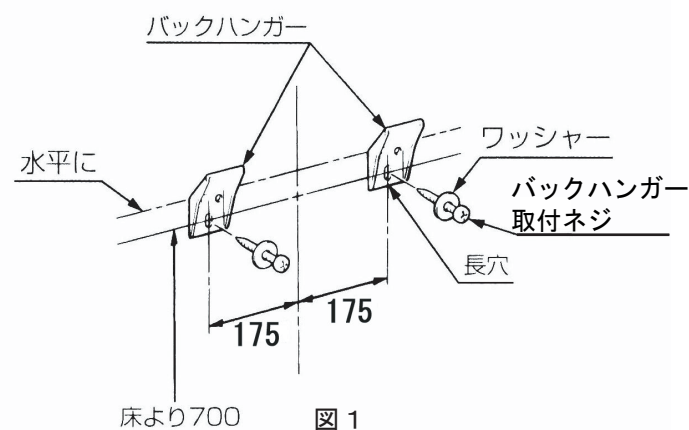
図１

2)洗面ボウルをバックハンガーにはめ込み仮取り付し（図2参照）洗面ボウルを押えます。
この時左右のガタつきの有る場合は金属片の小片を下がっている方又はガタつく方のバックハンガーの上面(図3-図a）に折り曲げて当てます。
また陶器全体を上げたいときはバックハンガーの下部(図3-図b）に下げたいときは上部(図3-図c）に金属片を挟んで調節して下さい。

図２

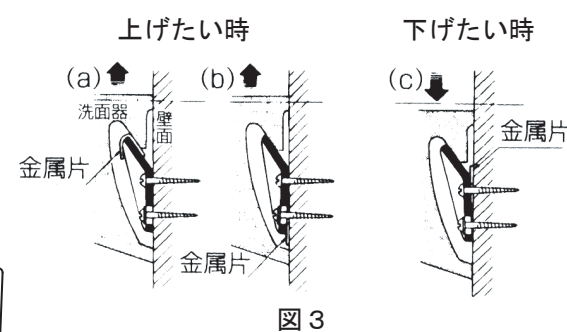
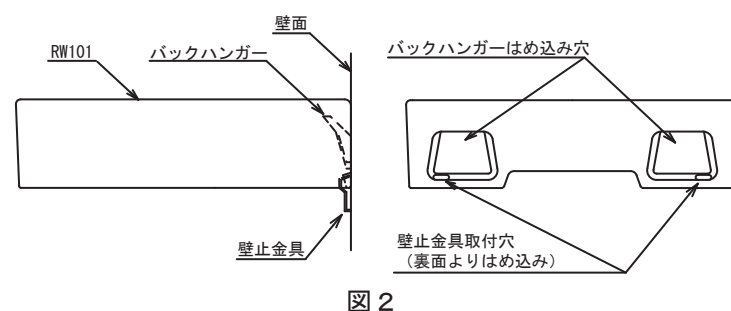
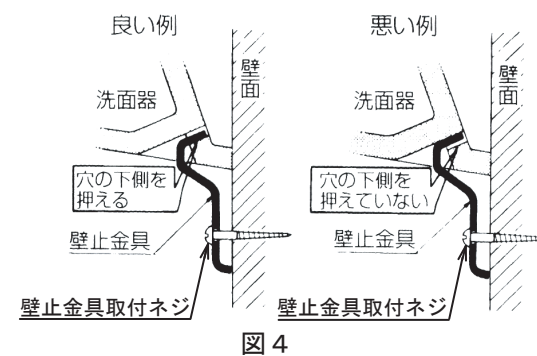
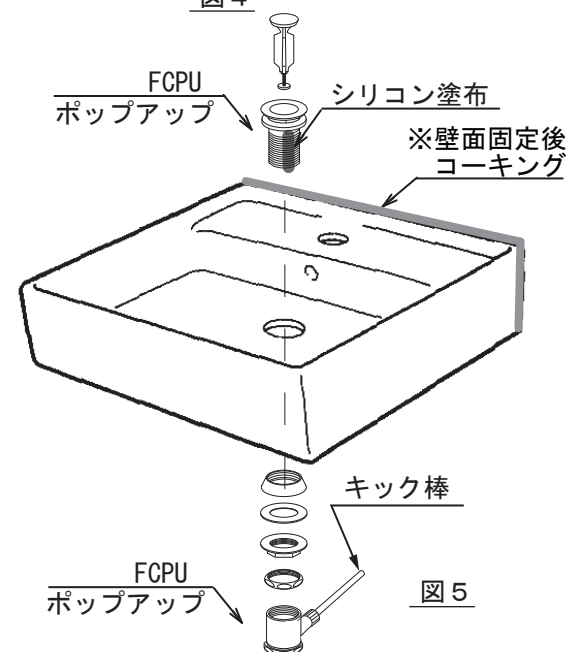
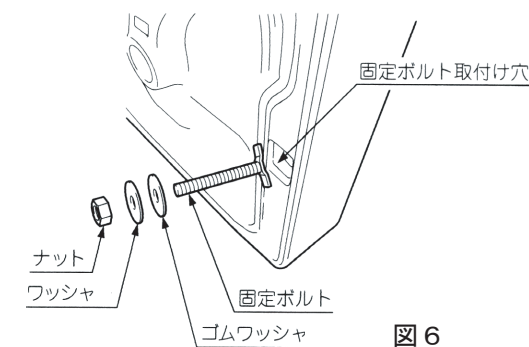
図３

3)壁止金具の湾曲している部分を洗面ボウルの壁止金具取付穴にはめ込み、穴の下部を押える位置にて壁へ取付けます。
取付の際のネジ止めは壁止金具の位置出しを行い、その際のネジ穴位置に下穴を開けた後に壁止金具取付ネジにてネジ締めを行って下さい。
この壁止金具は締付けると洗面器を引き下げる力が働きますので強固に取り付きます。（図4参照）

図４

※洗面ボウルを壁面に固定後、壁面接触部にシリコン塗布によりコーキングを施し水漏れの防止を行って下さい。
（図5参照）

4)ポップアップ（FCPU)を図5のように排水口へ組付けます。
シール性アップの為,ネジ部には縦にシリコンを塗布して組付けてください。
キック棒の位置は操作する方向に従い取付けて下さい。

図５

３－２．RW101(置き型仕様)　施工方法

1)Tボルトセットをを RW101の底面にある固定ボルト取付け穴に図6のように固定ボルト・ゴムワッシャ・ワッシャナットの順番ではめ込みし、締付け固定します。

固定ボルト取付け穴
ナット
ワッシャ
固定ボルト
ゴムワッシャ
図６

2)ボードに排水口用の逃げ穴を図7の様に開け、前項でTボルトセットの取り付いた洗面器の背面を壁に添わせ据え付けます。
ボードの裏面より固定ボルトへワッシャとナットをはめ込み締め込みを行い固定します。
その後、固定ボルトへ保護チューブをはめ込みます。
固定ボルトは怪我防止の為に保護チューブよりはみ出さないように施工して下さい。

3)ポップアップ（FCPU)を図7のように排水口へ組付けます。
シール性アップの為、ネジ部には縦にシリコンを塗布して組付けて下さい。
この時にキック棒は後方の位置に固定し水栓金具の引き棒と接続します。
（キック棒を前方で手動操作する事は置き型仕様の場合出来ません）

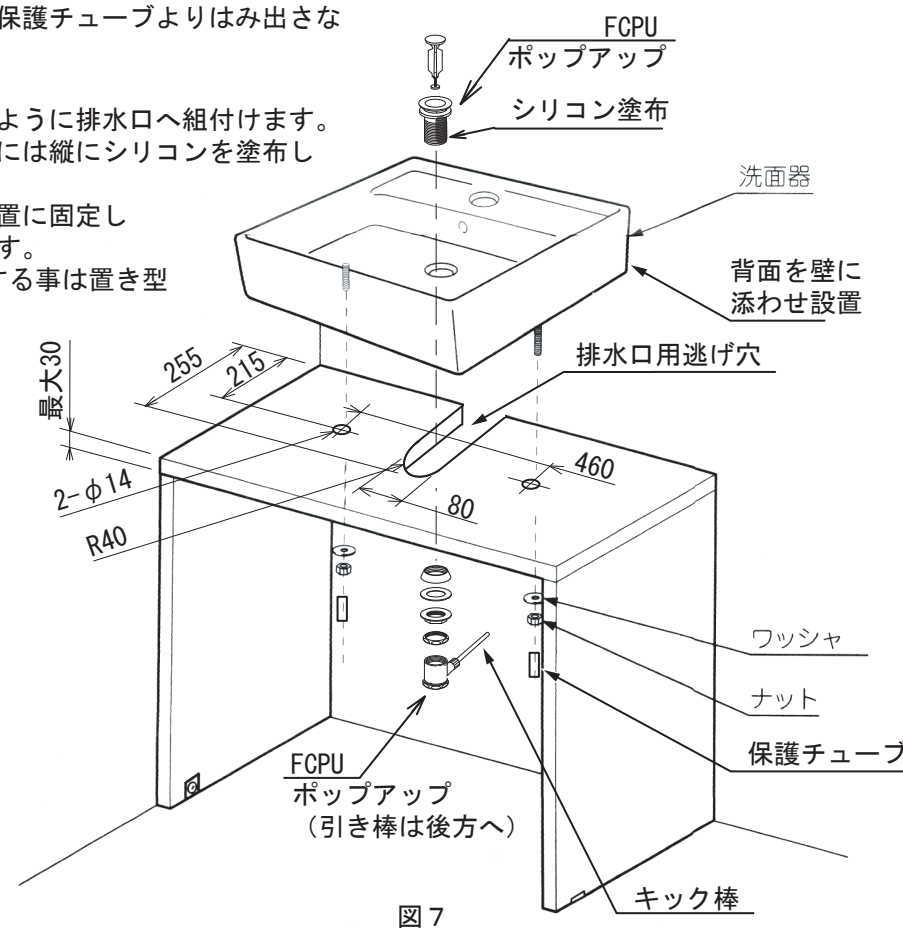
図７

5) 洗面ボウルを固定後、水漏れなどを防ぐ為に図８のように洗面ボウルのまわり（カウンター、壁と接触するところ）をシリコン塗布によりコーキングを施し水漏れの防止を行って下さい。

図８